



豊島区令和5年度

予算案重点事業



豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



index

令和5年度予算案の規模と特徴	1
豊島区が目指すまちの将来像	2
豊島区100周年の未来に向けた3つのコンセプト	3
区内全域で価値あるまちづくり	4

令和5年度予算の柱

<u>1.子どもと女性にやさしいまちづくり</u>	6
<u>2.高齢者にやさしいまちづくり</u>	10
<u>3.健康施策の充実</u>	12
<u>4.教育施策の充実</u>	14
<u>5.文化を基軸としたまちづくり</u>	16
<u>6.都市再生～安全・安心なまちづくり～</u>	18
<u>7.SDGs推進</u>	21
<u>8.デジタル化推進</u>	24

各分野の重点事業(新規・拡充事業)

子どもと女性にやさしいまちづくり・・・28

高齢者にやさしいまちづくり・・・31

健康施策の充実・・・33

教育施策の充実・・・35

文化を基軸にしたまちづくり・・・37

都市再生～安全・安心なまちづくり～・・・38

SDGs推進・・・41

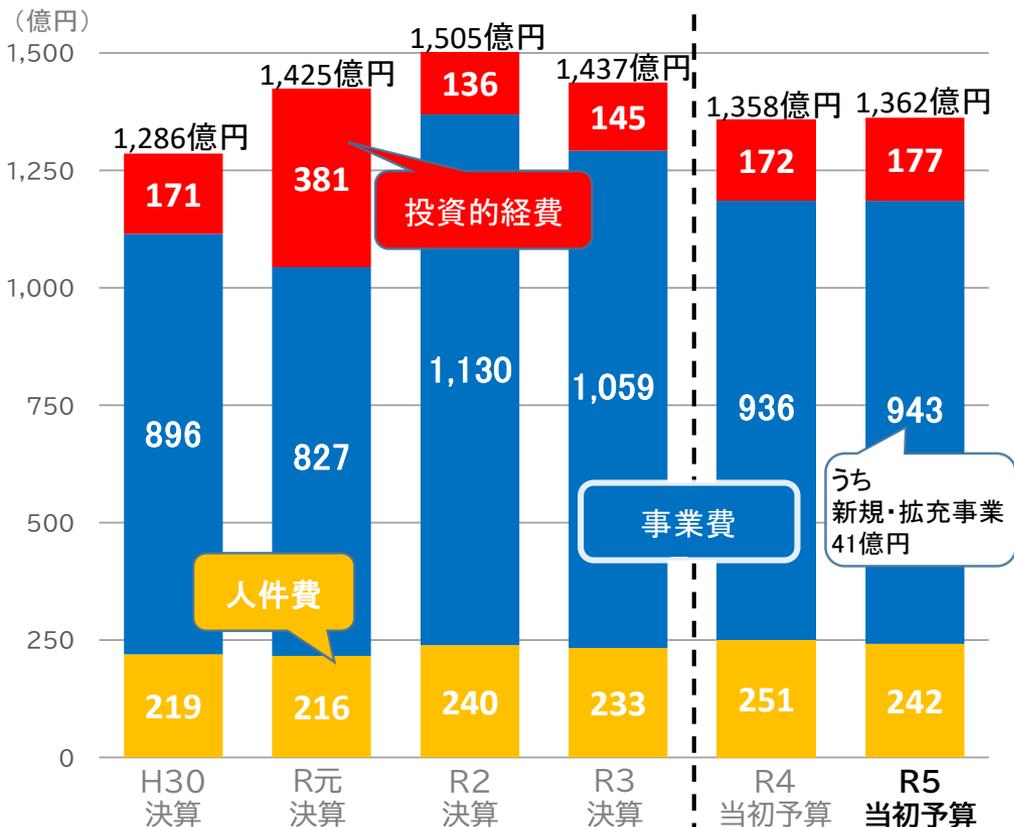
デジタル化推進・・・42

※ 本資料における新規・拡充事業は、全新規・拡充事業の中から抜粋したものです。
※ 継続事業も掲載しています。

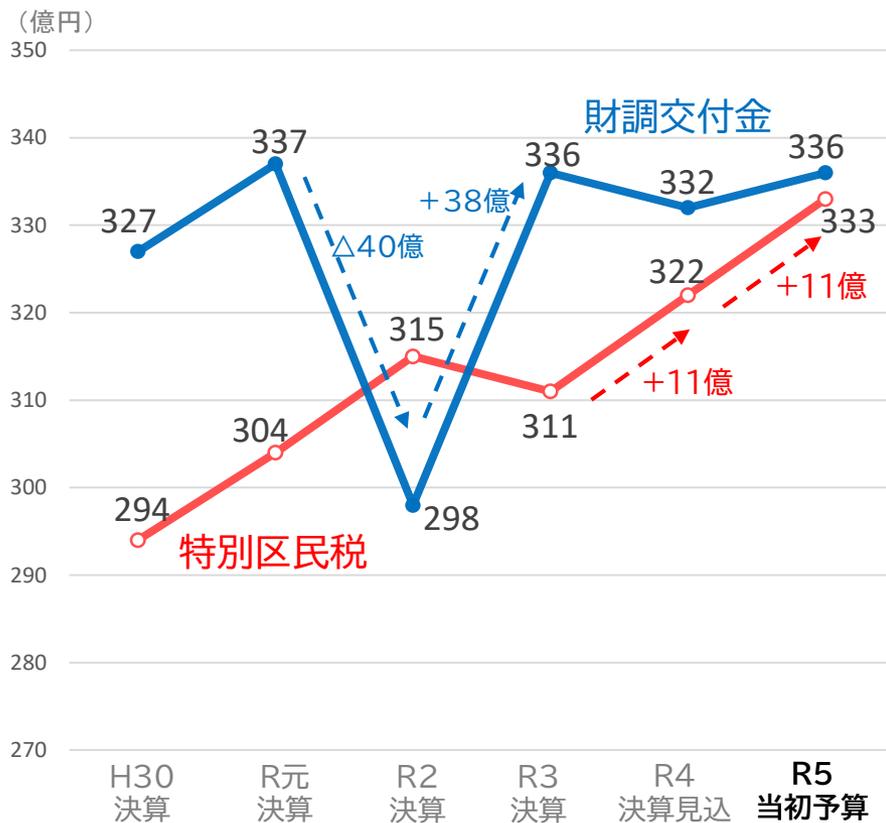
一般会計当初予算 1,361億5千1百万円

(対前年度比 3億5千9百万円 0.3%増)

【歳出(経費別)の状況】



【主要な一般財源歳入の状況】



- 【予算のポイント】**
- 当初予算額は1,362億円で過去2番目の予算規模（最大は令和元年度の1,498億円）
 - 扶助費（私立保育所運営助成や生活保護費など）は、420億円となり当初予算で過去最大を更新
 - 新規・拡充事業のうち一般事業は約240事業、41億円で、うち約半分は福祉・健康・教育のために計上
 - 特別区民税歳入は、当初予算で過去最大となる333億円を計上
 - 財政調整基金繰入金は、前年度当初予算額から29億円の減となる19億円を計上

※数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

豊島区が目指すまちの将来像

V字回復を成し遂げた区政を、さらに発展させ、

「文化による経済の好循環を生み出すまちづくり」により、日本をけん引！

区制100周年に向けた
豊島新時代の集大成
2030 → 2032

日経xwoman/日本経済新聞社
共働き子育てしやすい街
ランキング2022

第1位

日経グローバル
全国市区SDGs推進度
ランキング

総合9位

◆東京初のSDGsダブル選定、基礎自治体初の文化記念日
「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」ダブル選定
「としま文化の日条例」制定

◆世界へ大きく躍進

「東アジア文化都市2019豊島」開催
23のプロジェクト事業実施

ピンチ

2019

2020

コロナショック

2022

「国際アート・カルチャー
都市構想実現戦略」策定

◆区制施行90周年

2014 消滅可能性都市指摘

2008 リーマンショック

1999 財政破綻の危機

豊島区はここまで変わった！ 実績

人口 (各年1月1日時点)

平成11年度 248,483人 >> 令和4年度 288,704人

4万人増 ↑

特別区民税

平成11年度 201億円 >> 令和4年度(決算見込) 322億円

121億円増 ↑

納税者数

平成11年度 128,723人 >> 令和4年度(決算見込) 171,333人

4.3万人増 ↑

若年女性人口 (各年1月1日時点)

平成11年度 37,208人 >> 令和4年度 47,416人

10,208人増 ↑

文化を基軸とした事業の展開により、
福祉、教育など区民サービスに還元！



豊島区100周年の未来に向けた3つのコンセプト



▲池袋アニメタウンフェスティバル

文化の力で価値あるまちを
**国際アート・
カルチャー都市**



▲Tokyo Music Evening Yube

子どもたちの未来を託す
SDGs未来都市



▲豊島区こども未来国連会議

人が主役の
ウォーカブル都市



▲再開発後の池袋周辺イメージ

令和5年度予算の柱

子どもと女性にやさしい
まちづくり

高齢者にやさしい
まちづくり

健康施策の充実

教育施策の充実

文化を基軸とした
まちづくり

都市再生
～安全安心なまちづくり～

デジタル化推進

SDGs推進

区内全域で価値あるまちづくり



旧第十中学校野外スポーツ施設【千早】
令和6年10月開設予定



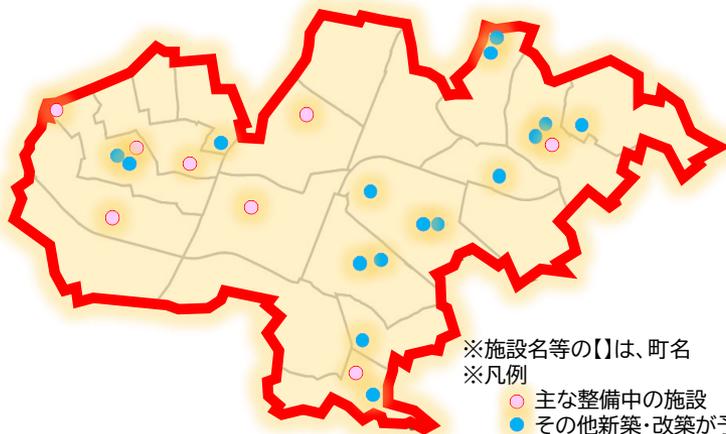
西部区民事務所等複合施設(学び舎 ひいす)【千早】
令和6年4月開設予定(一部施設は令和5年10月)



区民ひろば要【要町】(西部生活福祉課複合施設)
令和5年4月開設予定



豊島区児童相談所・長崎健康相談所【長崎】
令和5年2月開設



※施設名等の【】は、町名
※凡例

- 主な整備中の施設
- その他新築・改築が予定されている施設



区民ひろば池袋【池袋】
令和5年2月開設



立教通り【西池袋】
令和7年度 I 工区完了予定



高南小学校別棟【高田】
令和5年10月開設予定



巣鴨地蔵通り【巣鴨】
令和5年度 I 工区完了予定

その他新築・改築が予定されている施設

<区民ひろば> 区民ひろば朝日、区民ひろば清和複合施設 <福祉・保健> 西巣鴨地区特別養護老人ホーム、池袋保健所 <子ども> 千川中学校複合施設(公園含)、朋有小学校別棟、南池袋小学校別棟、巣鴨第一保育園、高南保育園、駒込第二若草保育園、<文化・スポーツ施設> 千早地域文化創造館、千早図書館、総合体育場管理棟、<公園・自転車> (仮称)雑司が谷三丁目広場、中池袋公園(トイレ整備)、大塚駅北口路上自転車駐車場

令和5年度予算の柱

1

子どもと女性にやさしいまちづくり

… 6ページ

2

高齢者にやさしいまちづくり

… 10ページ

3

健康施策の充実

… 12ページ

4

教育施策の充実

… 14ページ

5

文化を基軸としたまちづくり

… 16ページ

6

都市再生～安全・安心なまちづくり～

… 18ページ

7

SDGs推進

… 21ページ

8

デジタル化推進

… 24ページ

◆ 豊島区児童相談所の設置



豊島区児童相談所は
2月1日に開設いたします！



特別区において7区目の児童相談所となります。

長崎健康相談所との複合施設として整備し、子どもを守る専門機関と母子保健の専門機関が一体となった新たな子ども・子育て拠点として、子どもの最善の利益を保障します。



▲児童相談所外観

“オールとしま”による児童相談体制



「児童相談所」「子ども家庭支援センター」「池袋保健所・長崎健康相談所」の三機関が核となり、それぞれの専門性を活かした迅速かつ適切な対応を行います。

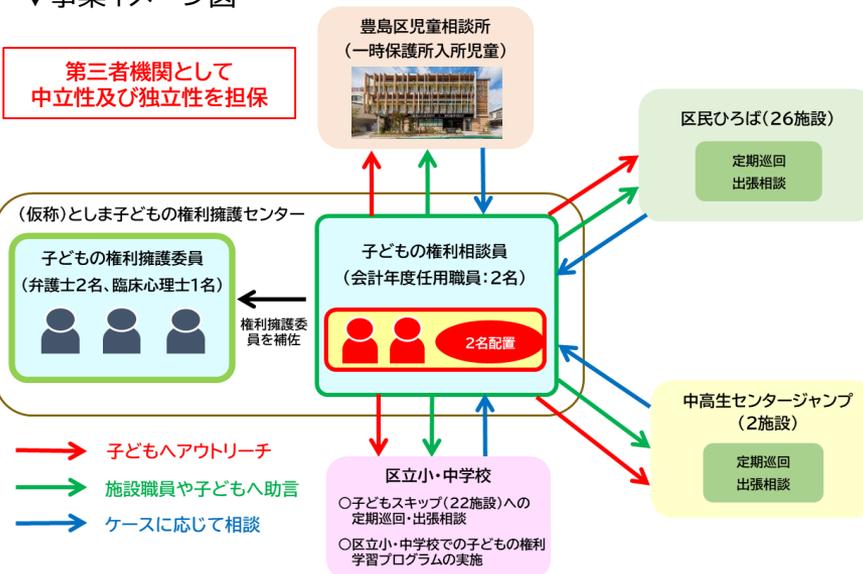
◆ (仮称)としま子どもの権利擁護センターの設置

新規

子どもの権利を擁護する第三者機関として、中立性及び独立性を担保する「(仮称)としま子どもの権利擁護センター」を設置します。また、子どもからの相談を受けたり、子どもの権利擁護委員の補佐等をする「子どもの権利相談員」を新たに2名配置します。

子どもにとって親しみのある施設へアウトリーチしながら、子どもたちの相談や声から権利侵害を早期発見することで、子どもの権利救済につなげます。

▼事業イメージ図



(仮称)としま子どもの権利擁護センターの設置
9,027千円→ 28ページ

◆ 保育園における在宅子育て家庭支援の強化

マイほいくえん事業の拡大

「マイほいくえん事業」とは、在宅で子育てしている家庭や、これから出産を迎える方などを対象に、保育園を身近な子育て拠点として、様々な子育て支援事業を行うものです。

在宅子育て家庭への支援を強化するため、「マイほいくえん」の実施園を、全ての区立保育園から、**私立保育園、地域型保育事業所にも拡大**していきます。

妊娠・出産・子育てまで、切れ目なく保護者のみなさんを支えることで、育児不安の解消や在宅での孤育て等を防ぎます。



一時預かり事業の充実

地域型保育事業所の空き定員を活用することで、保育園や幼稚園等を利用されていないお子さんの一時預かりを拡充します。

緊急時だけでなく、育児疲れによる心身のリフレッシュ等にも気軽に利用できる一時預かりを充実させることにより、地域で子育てを支援していく体制の整備を進めます。



マイほいくえん事業の拡大（保育園における在宅子育て家庭支援の強化）
5,845千円 ➡ 29ページ



▲うきうきタイム「お話ししながらクリスマス用の飾りを制作」



▲すくすくルーム「親子ふれあい遊び」からクリスマス用の飾りを制作」



▲「プレ登録者」「本登録者」へ配布するカードやパスポートとノベルティグッズ



▲マイほいくえん登録者のついで「お子さんを遊ばせながら保育士に相談」

◆ 医療的ケア児受入体制強化事業

区立保育園において、医療的ケア児の受入に必要な施設の改修、物品・機器類の整備を行うとともに、職員の育成を進め、受入体制を強化します（令和5年度は区立保育園2園の施設改修を予定）。



医療的ケア児受入体制強化事業
7,629千円 ➡ 29ページ

◆ ヤングケアラー支援コーディネーターの配置・研修実施

新規

昨年実施した「豊島区ヤングケアラー実態把握調査(対象:小学校4年～高校生)」では、家族の世話や家事などを行っている子どもたちの実態が浮き彫りになりました。家庭内の問題として見えづらいヤングケアラーを早期に発見し、適切に支援していくため、「ヤングケアラー支援コーディネーター」2名を東部子ども家庭支援センターへ配置し、地域の関係機関とも連携した体制を構築します。

R4年度 豊島区ヤングケアラー実態調査結果(一部)

Q.お世話をしている家族がいますか



小学4年～6年生
「21.4%」



中学生
「4.7%」



高校生世代
「2.8%」

Q.自身はヤングケアラーに当てはまると思いますか



小学4年～6年生
「2.2%」



中学生
「1.5%」



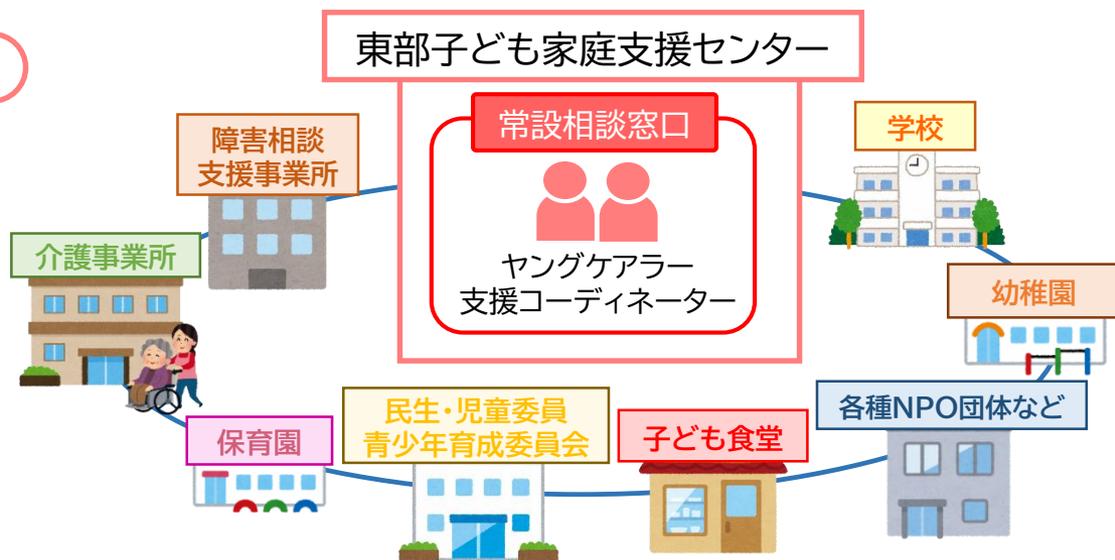
高校生世代
「2.3%」

ヤングケアラー支援コーディネーターの役割

ヤングケアラー支援コーディネーターが常設の相談窓口で相談を受ける他、関係機関と連携しながらアウトリーチを行い、個々の状況を見極めながら適切なコーディネートを行います。

また、ヤングケアラーの正しい理解を促進し、地域に見守りの目を増やすために職員や関係機関向けの研修・出張講座を実施します。

ヤングケアラー支援コーディネーターの配置・研修実施
10,783千円⇒ 28ページ



◆ 発達相談支援事業の拡充

発達相談支援の「初回相談」が3～4か月待ちと長期化していたことから、令和4年9月より、子ども家庭支援センターに加えて「区民ひろば」でも発達専門相談(月8日分・40枠)を開始し、**平均1か月での受け入れが可能**になりました。令和5年度は「個別指導」についても、受け入れ枠を拡充します。

個別指導の強化

言語指導と作業療法の個別指導は、平均して3～4か月待ちになるなど、ニーズが高まっています。

令和5年度は、子ども家庭支援センターに加えて、サテライト会場(区民ひろばで調整中)を拡充し、言語聴覚士・作業療法士・心理職・子ども家庭支援ワーカー等の有資格者を配置し、お子さんの発育に合わせ、適切な時期に適切な療育が受けられる体制を整備します。



▲言語指導の様子



▲作業療法の様子

発達相談支援事業の拡充 14,726千円→ 28ページ

◆ 若者等がつくる若者の居場所応援事業

新規

若者等が運営する若者支援団体に委託し、生きづらさを抱える若者を支援するための新たな居場所を、区内の複数の拠点で展開します。「大学へ入学したけれどコロナ禍で同年代の交流が無い」「家族や友人との関係がうまくいかない」等の悩みを抱えた若年層の方が利用できる参加型の居場所作りを応援します。

若者の居場所

若者を中心に多世代多種多様な地域の人が集まり、ゴミ拾いをしたあと、コーヒーを飲んで交流します。



無料でマンガイラスト講座などのワークショップを体験できる居場所もあります。



相談や占いができる、カフェもあります。もちろん無料です。



▲すずらんスマイルプロジェクトHPより



若者等がつくる若者の居場所応援事業【すずらんスマイルプロジェクト】 10,000千円→ 28ページ

難聴によるフレイルや認知症の進行を防ぐ！

◆ ヒアリングフレイル対策

ヒアリングフレイル予防のために補聴器や難聴への理解をより一層深め、早期に相談できる機会を増やします。

また、補聴器購入費の助成金額および対象範囲も拡充・新設します。

ヒアリングフレイル相談事業

講演会や各種相談会を実施。難聴や補聴器の正しい知識の普及啓発を行い、相談体制を整備します。

- ①補聴器や難聴の普及啓発のため講演会を開催
- ②補聴器相談医や認定補聴器技能者の周知・相談体制の整備、聞こえの定期相談会の実施
- ③タイムリーに相談に応じるため、個別相談会の実施



補聴器購入費助成の拡充



住民税非課税の方への助成額を拡充するとともに、住民税課税の方への助成を開始します。



ヒアリングフレイル対策事業 5,671千円（相談事業850千円、補聴器購入費助成の拡充4,821千円） → 31ページ

いつまでも安心して暮らすために！

新規

◆ 成年後見制度の体制強化

新たに専門職団体、関係機関、地域団体等により構成される「**（仮称）豊島区成年後見制度利用促進協議会**」及び、外部の有識者を入れた「**（仮称）豊島区成年後見人等候補者調整会議**」を、社会福祉協議会に委託して運営します。また、チームによる支援専門相談や親族後見人等支援の強化も行い、相談体制を強化します。

<強化の目的>

◆ 支援につながる人を増やします

後見推定ニーズ
2,889人

潜在的な利用者
人口の 1%
(R4.11.1時点
288,863人)

実際の利用者数
559人

東京家庭裁判所資料
(R3.1.1~R3.12.31)

／ メリットを実感！ ／

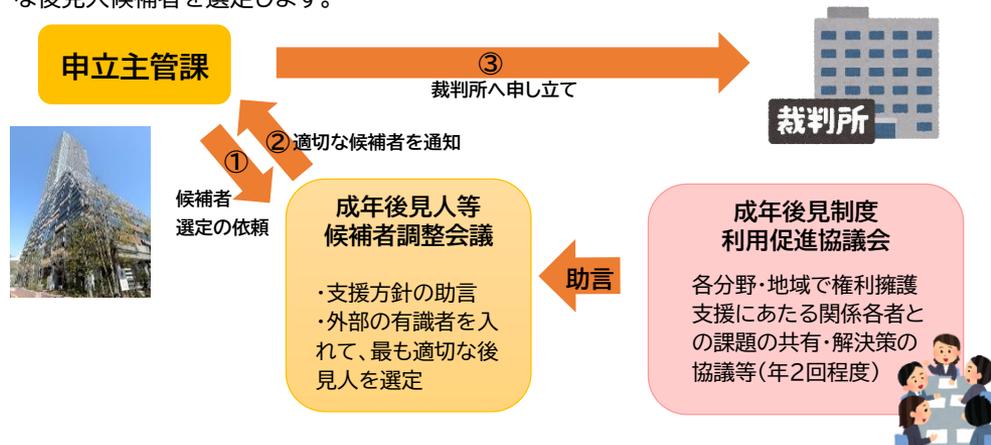
◆ 適切な後見人を選定します

被後見人の希望と後見人の方針が合わないことがあると言われています。

➔ 適切な後見人候補者の選定によりミスマッチを防ぎます。

後見人候補者選定の流れ（例：区長申立）

外部の有識者を入れた候補者調整会議で、被後見人に適した支援方針を助言・最も適切な後見人候補者を選定します。



成年後見制度利用促進事業 7,671千円 → 31ページ

◆ 入浴のみの短時間の デイサービス利用を実施します

新規

一人での入浴が困難な方向けに、入浴特化型デイサービス(短時間・送迎あり)のモデル事業を実施します。

自宅にお風呂がない方や、歩行が困難な方に移動支援も含めた入浴支援を行います。



「また来たい」

リフトがついている
浴槽もあります▶



【対象者・圏域】入浴ニーズが高く、銭湯や介護サービス事業所が少ない日常生活圏(2地区)で要支援認定者等の対象者を選定。

(想定)南部地区10名/回、東部地区5名/回

【実施期間】令和5年6～8月(月4回 3か月間)

【実施方法】2か所の事業所に運営を委託

【利用料】1人500円/回

入浴特化型デイサービスモデル事業
1,000千円 → 32ページ

◆ 短期集中通所型サービスの拡充

週1回、約3か月、リハビリの専門職による運動プログラムを提供し、高齢者の身体機能の回復・向上を図ります。



実施回数、実施会場を拡充し、より区民の方が利用しやすいサービスにします。

短期集中通所型サービス(通所型サービスC)実施内容の拡充
2,055千円 → 31ページ

◆ おむつ等助成金額の拡充



物価高騰等の伸び率113.5%を考慮し、
上限額を月額 **6,000円 → 7,000円** に引きあげます。

紙おむつ等助成金額の拡充
20,614千円 → 31ページ

◆ 高齢者理美容助成の拡充

在宅高齢者に対して、理美容業者が自宅まで出張して散髪・洗髪の施術に使える理美容助成を拡充します。



①対象者の拡充 要介護4以上 ⇒ 3以上
②利用回数の拡充 年6枚 ⇒ 年12枚
③助成額単価の増 6,200円 ⇒ 7,000円



高齢者理美容費助成事業
4,239千円 → 31ページ

◆ 新たな拠点“健康センター”

＼ 本庁舎と連携し、区民サービスをさらに向上！ ／

令和8年 池袋保健所が移転します

区民の命と健康を守る池袋保健所が、本庁舎と隣接した南池袋二丁目C地区の再開発建物に移転します。

「健康センター」機能

- ・女性特有の健康課題などを気軽に相談できる窓口
- ・「気づき」を促す健康チェックコーナーの設置 等

保健所専門機能の強化

- ・本庁舎と連携した切れ目ない子育てサービスの充実
- ・大規模災害時の保健医療活動の拠点 等



◀ 健康センター
スペース(イメージ)

健診エリア ▶
(イメージ)

◆ 带状疱疹ワクチン費用助成 新規

令和5年6月より、50歳以上の区民を対象に、区内指定医療機関にて接種する带状疱疹ワクチンの接種費用の2分の1程度を助成します。

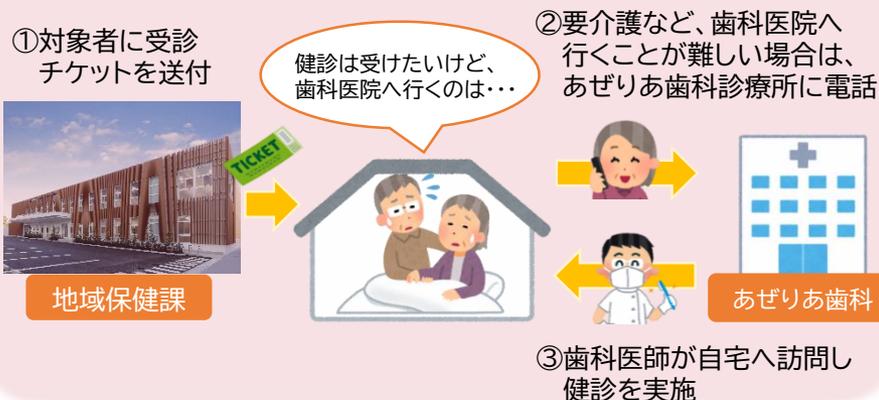
いずれかを選択!

	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回	2回
予防効果	50%程度	90%以上
特徴	1回で済む 料金が安い	予防効果が高い 免疫低下の方も接種可
助成金額	5,000円	11,000円×2回

带状疱疹ワクチン費用助成 46,169千円→ 34ページ

◆ 高齢者訪問歯科健診事業

要介護など、歯科医院への通院が困難な方を対象に、ご自宅に歯科医師が訪問する高齢者訪問歯科健診を開始します。



高齢者訪問歯科健診事業 1,397千円→ 33ページ

池袋保健所の本移転 20,000千円→ 34ページ

◆ 受動喫煙防止対策の強化



民間主導での公衆喫煙所の設置を推進！

新規

路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの強化

受動喫煙防止対策を強化するため、池袋駅周辺の路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールを週5日から毎日実施に拡充します。

民間事業者に対して、公衆喫煙所を設置する経費に加え、新たに維持管理経費について助成を行います。また、設置基準を緩和し、民間主導での公衆喫煙所の設置を推進していきます。

設置経費

設置工事費 等

維持管理経費

清掃費、光熱費等

設置経費の助成に加えて、新たに**維持管理経費の助成**も行います！



令和5年度のパトロール(予定)

【池袋駅周辺】 月・水・金 7時～21時
火・木 8時～17時
 土・日・祝 10時～21時

【其他地区】 平日毎日 7時～19時

今まで未実施の火・木曜日については、子どもの受動喫煙を防止するため、日中に集中的に実施します。

【助成限度額について】

設置経費

400万円 (1回・助成率10/10)

維持管理経費

年60万円(5年間・助成率10/10)

民間事業者等による公衆喫煙所設置等助成事業
 14,400千円 → 34ページ

路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール事業
 5,002千円 → 34ページ

豊島区受動喫煙防止対策本部の設置

区は、望まない受動喫煙を防止し、区民の健康を守るとともに、まちの美化を図るため、環境、健康、道路、公園など、部局横断による「**受動喫煙防止対策本部**」を令和4年9月に設置しました。

令和5年度も関係部局と連携し対策の強化を行います。



◀職員デザインのロゴマーク



ポスター掲示

令和4年度実施事業(抜粋)



公園内の啓発強化



清掃車両による啓発

◆ SDGs達成の担い手育成

SDGsアドバイザーの助言のもと、自然環境が少ない豊島区で自然体験を中心とした環境教育を展開します。SDGsフェスティバルも継続開催！



千早小
「千早ビオトーププロジェクト85」

SDGs達成の担い手育成事業
16,800千円
➔ 36ページ

◆ GIGAスクール構想の実現

タブレットPCや大型モニター等の整備・更新を進めるとともに、タブレットPCを活用した学力調査やデジタル教科書の活用などデジタルならではの学びを推進。

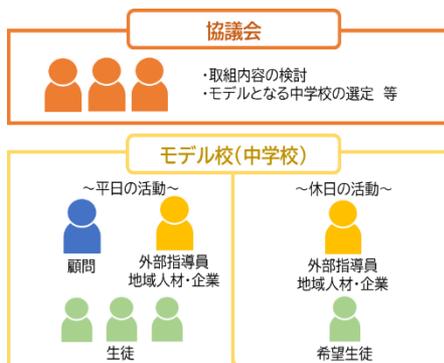


ICT環境整備・活用事業 55,711千円
(内：Chromebook端末の整備事業 32,477千円 ➔ 35ページ)

◆ 部活動の地域連携・移行に向けて

新規

区立中学校の休日の部活動の地域連携・移行へ向け、協議会を立ち上げて取り組みを検討するとともに、モデル校において地域人材等と連携した実証事業を実施します。



休日部活動の地域移行に向けた実証事業 1,593千円 ➔ 36ページ

◆ 学校給食への補助

食材価格の高騰が長期化する中、保護者負担を増加させることなく、学校給食の質や食育活動を維持するため、学校給食への米購入費の公費補助を週2回分から週4回分に拡充します。



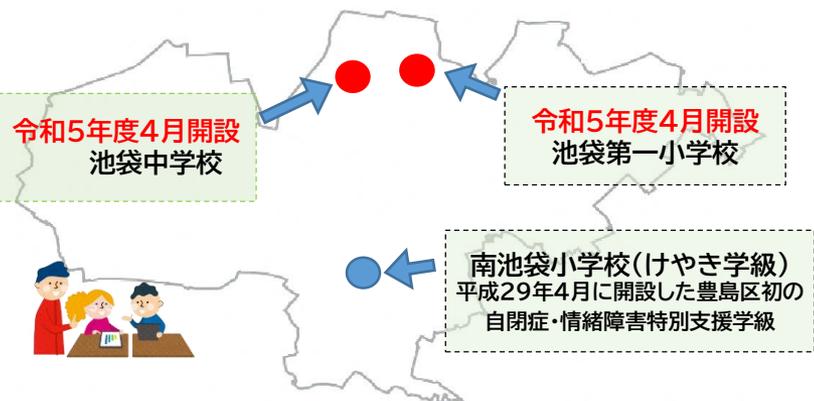
学校給食への公費補助事業
22,136千円 ➔ 30ページ

◆ 誰一人取り残さない学びの実現

一人一人を大切に、豊かな心を育み、確かな学力の定着と豊かな個性を伸ばし、健やかな体を育成する教育を推進します。

特別支援教育の充実

自閉症・情緒障害特別支援学級を小・中学校に増設します。また、中学校に時間講師を配置し、通常学級同様の教科指導を行います。



▲けやき学級

小学校2校に設置することでより多くの児童を受け入れることができます。また、登下校の負担も軽減されます。

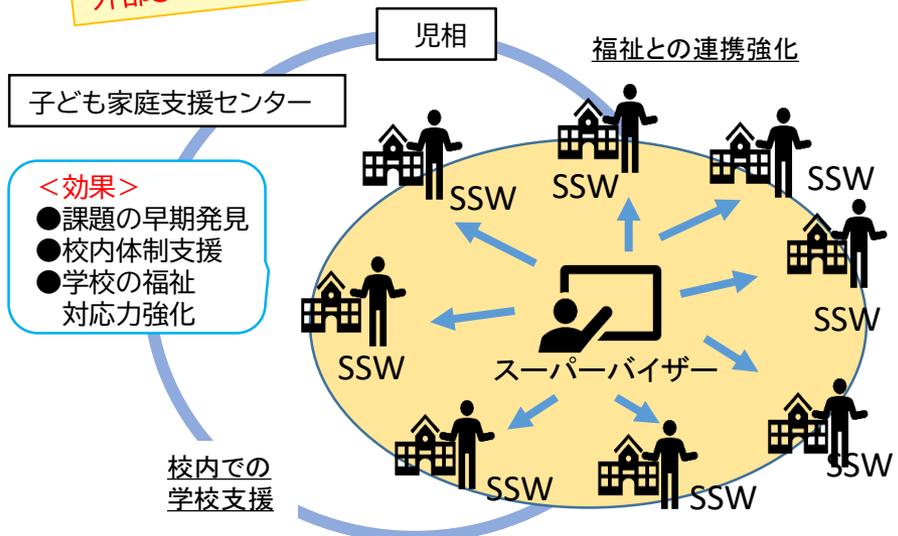
新たに中学校に開設することで、中学生の学びの場を確保できます。

スクールソーシャルワーカー活用事業強化モデル

新規

スーパーバイザーの指導・助言の下、スクールソーシャルワーカーが個別のケース対応のみならず、学校巡回により、ヤングケアラーなどの課題に対して早期対応する体制を整備し、福祉と教育が連携した誰一人取り残すことのない教育を推進していきます。

5名体制であったSSWを8名体制に増員
外部SVを配置し機能強化



- <効果>
- 課題の早期発見
 - 校内体制支援
 - 学校の福祉対応力強化

チームによる支援を全区立小・中学校内で展開

スクールソーシャルワーカー活用事業強化モデル～SV～
4,368千円⇒ 35ページ

◆ マンガ・アニメを活用したまちづくり

回遊性のあるまち「南長崎マンガランド事業」

区では南長崎地域と一体となり、トキワ荘マンガミュージアムを中心に、回遊性を持たせたマンガによるまちづくり「南長崎マンガランド事業」を進めています。

トキワ荘マンガミュージアム



来館者10万人突破！

開館から令和5年度で**3周年**！
今後も、幅広い世代のマンガ・アニメファンに対し、魅力ある企画展を実施します。

令和5年3月26日まで！



特別企画展
「藤子不二雄△のまんが道展」



紫雲荘



トキワ荘マンガステーション



トキワ荘通りお休み処

至 椎名町

至 目白

トキワ荘通り昭和レトロ館



戦後マーケットの「味楽百貨店」に令和4年11月オープン！

1階の(一社)マンガナイトが運営する民間施設の**マンガピット**では、約7,000冊のマンガを楽しむことができます。

また、マンガやアニメ、昭和をテーマとした企画展を開催します！

昭和歴史文化記念館展示事業10,000千円 → 37ページ

トキワ荘におけるマンガ文化の発信・交流スペース運営事業
3,500千円 → 37ページ

アニメの聖地・池袋

サブカルチャーの発信拠点が次々と誕生する池袋。
世界中のアニメファンが楽しめるまちを目指して進化を続けます。

アニメイト池袋本店

世界最大規模のアニメショップが池袋保健所跡地に増築してリニューアルオープン！

日本のアニメカルチャーを池袋が牽引します！



©L/S,JOJO SO

街中をアニメコラボでジャック！

区施設や街中の様々なシーンをアニメとコラボしながら豪華ビジュアルで彩ります。

池袋ハロウィンコスプレフェス

令和4年10月に開催された**国内最大級**のコスプレイベント！

安全安心なイベント運営を徹底し、3年ぶりにコロナ前と同規模で開催しました。



©池袋ハロウィンコスプレフェス2022

◆ 音楽によるまちづくり

「音楽によるまちづくり」をテーマに、音楽パフォーマンスを区内の施設・路上で行い、まちのにぎわいを創出しています。

「要町駅ピアノ～としまの純真～」を活用した街なかクラシックプロジェクト

集まれ！第九を歌おう!!合唱団



バスキングショーの様子



Hareza池袋アニソンライブの様子



Tokyo Music Evening Yube

豊島区立芸術文化劇場(東京建物 Brillia HALL)

令和4年度は、どの角度からも舞台を見やすくするために、座席の配置の見直しを行い改修をいたしました。

令和5年度は、音響設備等の改修を行い、更なる鑑賞環境の向上を図っていきます。



区民合唱再結成～集まれ！第九を歌おう!!合唱団～
2,500千円 → 37ページ

音楽によるまちづくり推進事業 6,220千円 → 37ページ

Hareza池袋での音楽によるアニメのまちづくり事業 11,400千円 → 37ページ

交流都市と音楽で繋がる！

交流都市フェアで佐渡市が伝統芸能の「鬼太鼓」を披露しました！@ファーマーズマーケット



豊島大博覧会

会期延長！
令和5年5月28日まで

～過去から学び、今日を生き、未来に希望～

▼ 池袋駅周辺のまちづくりプロジェクト

区の歩み、文化によるまちづくりのもと大きな変貌を遂げた現在、区制100周年に向けて発展を続ける豊島区の将来像を紹介する特別展を開催しています。



池袋駅周辺のランドマークや計画中のプロジェクトを模型やパネルでわかりやすく紹介しています

東西のシンボルストリートを中心としたダンベル型のまちづくり

池袋ウォーカーブル基本方針 “人”が主役のまちづくり

～ 居心地よく、まちを歩きたくなる「池袋」へ ～

テーマ1
文化
多様性

テーマ2
自然
緑のネットワーク

テーマ3
ストリート
回遊性

シンボルストリートを中心とした
回遊性向上エリア（西口）

シンボルストリートを中心とした
回遊性向上エリア（東口）



～関東大震災から100年の節目～ 『木密地域』を『災害に強い街』へと再生

再生に向けた4つのメニュー

都市計画
道路整備
地域内6.4km

沿道
まちづくり

面的な
建物不燃化

地域内の
基盤整備
公園・ひろば・
防災生活道路

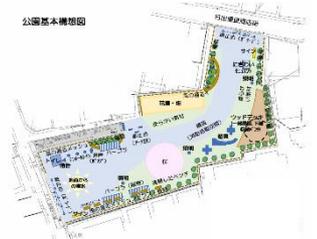


TOKYO強靱化プロジェクトとの連携
★重点整備地域内の建て替え助成制度を拡充！
(建築工事費助成を新たに追加)

地域と協働によるまちづくり



共同化に向けた勉強会



地元ワークショップによる
公園整備計画

特定整備路線沿道まちづくりの推進



沿道での再開発事業
や共同化事業等による
延焼遮断帯の形成

重点整備地域 (不燃化特区)	地区面積 (374.9ha)	地区内で事業中の都市計画道路 (5路線7区間)	事業区間 (6.4km)
東池袋四・五丁目地区	19.2ha	補助81号線	610m
池袋本町・上池袋地区	124.3ha	補助82号線・補助73号線	2,200m
補助81号線沿道地区	39.7ha	補助81号線	930m
雑司が谷・南池袋地区	38.2ha	補助81号線(環状5の1号線)	260m
補助26・172号線沿道地区	153.5ha	補助26号線・補助172号線	2,400m

空地の確保と基盤整備

拡幅前



拡幅後



防災生活道路の整備

従前居住者用住宅の確保



コンフォール東池袋

◆ 無電柱化による防災力の強化

立教通り・巣鴨地蔵通りの無電柱化を進めています。なお、令和5年度は東通り・平和通り・染井通りの無電柱化の検討も進めます。

立教通り(第1工区・令和7年度完成)

無電柱化事業



- 無電柱化により防災性が向上します。
- 一方通行化により歩道が拡幅します。
- グリーンインフラを活用した環境モデル路線に取り組みます。

立教通り整備事業
402,332千円 → 39ページ

巣鴨地蔵通り (第1工区・令和5年度完成)

無電柱化事業



旧中山道に相応しい、全面に天然石を敷き詰めた参道を整備します。

無電柱化整備事業(巣鴨地蔵通り)
492,200千円 → 40ページ

無電柱化を検討します!

東通り 13,000千円

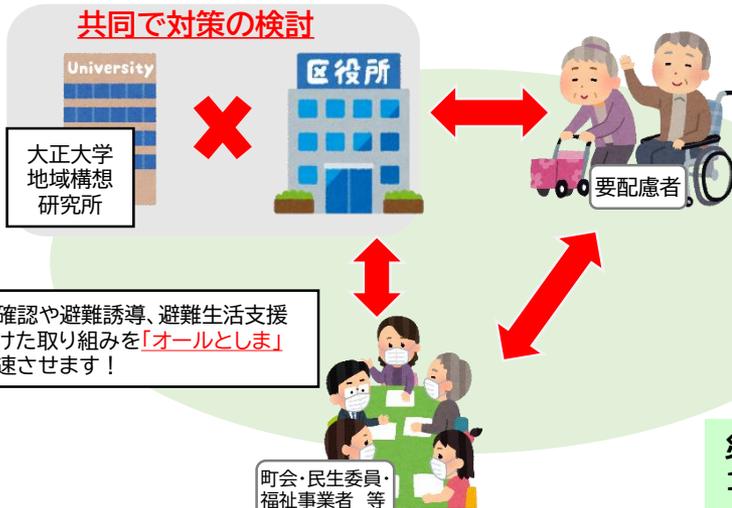
平和通り 17,000千円

染井通り 11,000千円

◆ 災害時要配慮者対策の推進

新規

一人暮らし単身高齢者の割合が日本一高い当区の「個別避難計画」の作成に向けて、地域の特性と個人のリスクを複合的に評価した計画とするために、地域の関係者と連携しながら、豊島区モデルの構築に着手します。



地域と共同で推進!
~地域全体で要配慮者を守る~

要配慮者の方との情報連携を強化するとともに、地域の関係者の皆さんとの協力体制を強化します。
さらに、大正大学地域構想研究所と連携し、要配慮者対策について検討を進めます。

災害時要配慮者対策の推進
13,287千円 → 39ページ

◆ 街頭防犯カメラ設置の補助

地域の安全安心を維持するため、地域見守り活動を連携して行う地域団体を対象に、街頭防犯カメラの設置経費の補助を行っています。

街頭防犯カメラの効果



街頭防犯カメラの整備に対する補助事業
25,100千円 → 39ページ

＼オールとしまで「誰一人取り残さない社会」を実現！／ ◆ 子どもたちと拓く SDGs未来都市としま

2021年から開始した「SDGs達成の担い手育成事業」は区立小中学校全校で、学校と地域、子どもと大人が、SDGsについてともに学び、行動して、「自分ごと化」を進めています。2022年に開催した「豊島区こども未来国連会議」では、“住み続けられる未来の豊島区”をテーマに小学校高学年の子どもたち約50名が集まり、チームごとに議論、議場で大人たちに提言しました。

豊島新時代の集大成

2030 → 2032
SDGs達成 区制施行100周年



SDGs達成の担い手育成事業

オールとしまでSDGs達成に挑戦！

再生PET繊維エコバックでの地域活性化や通学路フラワーロード運動等、子どもたちが地域の大人たちと力を合わせて活動。



〔巣鴨北中学校〕



〔高松小学校〕

豊島区こども未来国連会議

自分たちの未来は自分たちでつくる！

子どもたちがフードロスや緑化推進などを議論し、豊島区の未来について提言。



2025年
「こども未来国連会議」
in大阪・関西万博(予定)

2023～2024年
「こども未来国連会議
(内閣府と連携した事業)」

SDGsを切っ掛けに
豊島区の未来を
世界へ発信！



＼オールとしまで SDGsの取組みを推進します！／

区民ひろば



SDGs紙芝居「地球を笑顔に みんなでSDGs」の読み聞かせの様子

企業



西武造園(株)主催の間伐材を使ったSDGsワークショップの様子

SDGs 特命大使

令和4年11月末現在、2,058名が特命大使に任命されています。



SDGs子ども大使が区長に提案している様子

SDGs達成の担い手育成事業
16,800千円 → 41ページ

SDGs未来都市推進事業 15,621千円
(「豊島区こども未来国連」の開催5,200千円) → 41ページ

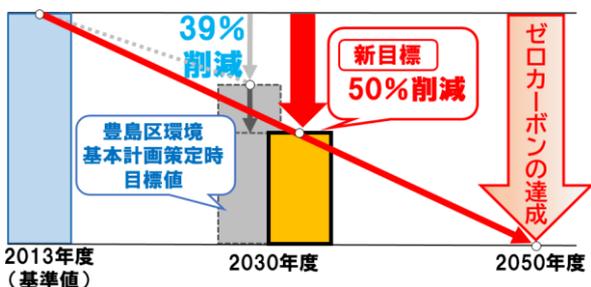
◆ ゼロカーボンの推進～エネルギーライフスタイルの転換～

2050としまゼロカーボン戦略(令和4年7月策定)

23区初!

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ実現に向け、「2050としまゼロカーボン戦略」を策定しました。オールとしまによる取組みを進め、日本一の高密都市が環境分野でもSDGsをリードします。

Point1 温室効果ガス新削減目標

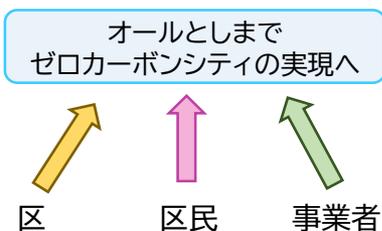


Point2 ゼロカーボン達成に向けた4つのアクション

- アクション1 環境にやさしいエネルギーの利用促進と省エネルギー化の推進
- アクション2 未来へ向けたライフスタイルの転換
- アクション3 資源循環・3Rの推進
- アクション4 区の率先行動

Point3 オールとしまで推進

4つのアクションに区、区民、事業者それぞれが取り組む内容を明記しました。



それぞれの主体で
できること、やる
べきことを実施!



プラスチック資源回収

新規

令和5年10月から区内全域で本格実施!

「燃やすごみ」として処理している「プラスチック製容器包装(レジ袋・菓子袋等)」と「製品プラスチック(洗面器、プラ製ハンガー等)」を資源として回収し、リサイクルします。

令和5年4月から本格実施に向けたモデル事業を実施

【期間】令和5年4月～9月

【対象世帯】約19,500世帯

【対象地域】池袋本町2丁目、要町3丁目、駒込1・2丁目、千川2丁目、西巣鴨3・4丁目、東池袋5丁目、南長崎6丁目、目白4丁目

約3,189トンのCO₂(東京ドーム77個分の
スギの人工林が1年間に吸収する量)を削減!

燃やすごみ約1,995トンが
資源に!

資源回収やごみ収集の情報を発信!

区HPIに特設サイトを設置
詳細なQ&Aで新分別ルール
を説明。わかりやすい動画も
配信予定!



豊島区版ごみ分別アプリの新規導入
スマホから簡単に情報を入手!
分別に迷ったら簡単検索。



プラスチックの削減を強化/ 新規

マイボトルの利用促進

区民ひろば14か所に給水スポットを
設置し、ペットボトル削減を推進。

助成メニューを8種類に拡充/

エコ住宅推進

太陽光パネルに加え、蓄電池を新規に
助成することで再生可能エネルギー
の導入を後押し!

クールスポット・給水スポット事業 774千円→41ページ

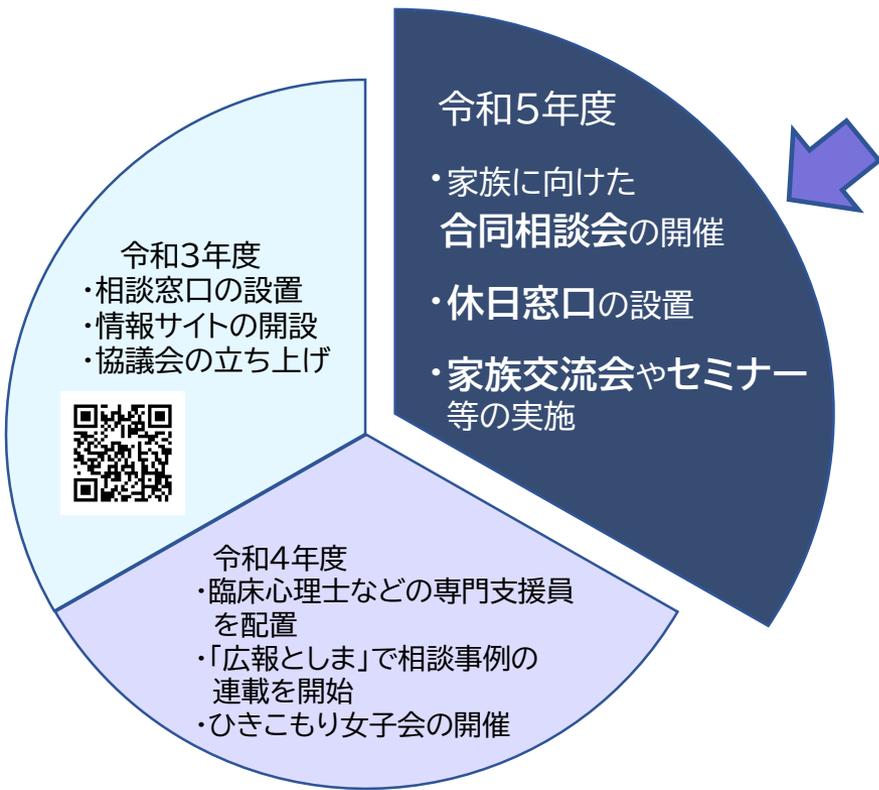
エコ住宅・事業者普及促進費用助成
(蓄電システム) 1,000千円→41ページ

プラスチック資源回収事業 386,591千円→41ページ

＼ ご家族への支援を一層充実させます！ ／
◆ ひきこもり支援体制強化事業

新規

区は令和3年からひきこもり専用の相談窓口やサイトを設置し、いつでも、どこでも、誰でも相談できる仕組みを構築しました。ひきこもり支援にはご家族の力添えが重要であることから、家族交流会や専門の知識を有する各種支援団体による合同相談会を実施し、家族支援を一層強化します。



○「民生委員・児童委員、青少年育成委員アンケート」より把握しているひきこもり当事者の約8割は家族と同居

○「ひきこもり相談窓口」の実績より初回相談の約7割は、当事者の家族からの相談

○家族が抱える課題を解決することで、ひきこもり当事者との関係が良好になり、解決の第一歩に！

ひきこもりの解決には、「家族の力」の回復が重要！



家族交流会



各種支援団体による
家族に向けた合同相談会

＼ 高齢者の居場所づくりも！ ／
 区民ひろばをICTリテラシー向上の拠点に！
 ◆ デジタルシニア育成

新規

「区民ひろば」は、豊島区の地域コミュニティの拠点として各小学校区に設置し、だれでも気軽に利用できる施設で、世代を超えて地域の方が集まり活動をしています。また、地域の高齢者の居場所(※)としての役割も担っています。(※コロナ禍前は年間30万人を超える高齢者が利用)
 令和5年度は、高齢者のデジタルデバイド解消とQOLの向上に向けて、スマホ教室等を開催する「地域共生カフェ」の設置や、デジタル活用講座を開催し、高齢者のICT技術活用支援を行います。

地域共生カフェの設置

区民ひろば5施設(駒込、豊成、上池袋、池袋、椎名町)に「地域共生カフェ」を設置して、高齢者向けICT技術活用支援を行うことで、区民ひろばをICTリテラシー向上の拠点とします。

【活動内容】

- ・気軽にコーヒー等を飲みながらスマホ・タブレットの操作を学ぶ
- ・高齢者向けのスマートフォン・タブレット講座、個別相談会等の開催
- ・施設内で自由に使えるタブレットの配置



◀ 地域共生カフェイメージ



◀ スマホ講座



その他「デジタルシニア育成」事業

・フリーWi-Fiの設置

全ての区民ひろば、千早・巣鴨地域文化創造館に設置。

・オンライン講座の開催

介護予防センター等にて、スマートフォン・SNSの活用講座の開催やスマホの貸出、オンラインでのフレイル対策講座の開催。

区民ひろばのサテライト化

上記5施設にオンライン会議システム「Zoom Rooms」を設置、その他区民ひろばにはタブレットを配置します。

オンライン会議システムを利用することで、他の区民ひろばから参加者の受け入れが可能となり、各区民ひろばの連携を強化します。



つながる ひろがる デジタルシニア育成事業
 72,997千円(3課分) ➡ 42ページ

妊娠中から出産後も、手続きが便利になります！

◆ 各種サービスのオンライン化



ゆりかご面接(妊婦支援)のオンライン化

安心して出産を迎えていただくために、令和5年度中に長崎健康相談所でオンラインによる「ゆりかご面接」を試行的に開始します。

今まで来所が難しく、対面による「ゆりかご面接」を諦めていた妊婦さんにも助産師や保健師による伴走型相談支援を届けます。



新規

ゆりかご等オンライン面接経費
157千円 → 42ページ



一時保育利用予約のオンライン化

東・西子ども家庭支援センターで実施している一時保育の利用申し込みを、インターネットから可能にするためのWEB予約システムを導入します。

区が運用している母子手帳アプリ「母子モ」の「地域の子育て情報」に申込みボタンを設置し、予約受付を行います。



・24時間予約受付
(web予約は前日まで)



・電話等の予約も一元管理



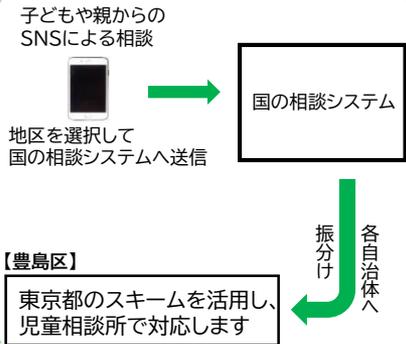
・母子手帳アプリ「母子モ」内の、このスペースに予約ボタンを設置します

SNSによる相談受付

新規

電話相談などに躊躇してしまう子どもや家庭において、SNSによる国の相談システムを区でも活用します。

このシステムを通じて寄せられた相談に対し、豊島区は東京都と連携し、地域の実情を把握する区の児童相談所が中心となり、迅速かつ的確に対応します。



SNS相談受付事業
1,331千円 → 42ページ

一時保育事業におけるWEB予約システムの導入
1,331千円 → 43ページ

オンライン決済(クレジットカード払い)に対応!

◆「新・施設予約システム」 新規

- ・70施設・194部屋の利用予約が可能な「施設予約システム」を一新。
- ・予約時にオンライン決済(クレジットカード決済)できる機能を追加、利便性を向上。令和6年度から対応予定。
- ・併せて、インボイス制度にも対応。



▼としま産業振興プラザIke・Biz



▲南長崎スポーツセンター



現金またはオンライン決済(クレジットカード払い)に対応。

令和6年4月から、オンライン決済(クレジットカード払い)を開始予定。

【スケジュール】

令和5年度：施設予約システム改修、インボイス対応開始(10月～)
オンライン決済対応に向けた運用標準モデルの確定

令和6年度：オンライン決済(クレジットカード払い)の
運用開始(4月～)



施設予約システム オンライン決済・利用者ID対応事業
4,752千円 → 42ページ

DX推進 成功の秘訣は、デジタル人材育成！ リスキング プログラム

◆「寺子屋ICTプロジェクト」

- ・デジタル化の推進力となる若手職員を育成。組織を強化。
- ・実務上の業務改善・課題などをテーマとして、民間IT企業から招いた講師が、デジタルの集中トレーニングを実施。
- ・最終的に区長・副区長へデジタル化事業を提案。実際に予算化された事業も。
- ・既に令和3、4年度と2か年実施。令和5年度も継続。

各年度20名程度の受講生が、現場の課題をデジタルで解決する策を模索



▲最終的には区長・副区長へ事業提案

各分野の重点事業

1 子どもと女性にやさしいまちづくり

子どもと女性にやさしい まちづくり	事業数	事業費	うち新拡分 事業費
	51事業	15,507,414	933,489

(単位：千円)

- * 各分類に重複して位置づけている事業があります。
- * 事業費には特定財源を含みます。

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
1	出産育児一時金の増額	160,000	25,600	平成21年10月より42万円であった出産育児一時金を、50万円に増額する。	国民健康保険課
2	子育てファミリー世帯家賃助成事業	48,929	5,138	子育てファミリー世帯家賃助成制度の利用実績に伴い、助成金を増額する。	福祉総務課（自立促進担当課長）
3	子宮頸がんワクチン接種対象者助成	96,086	95,381	令和4年度より積極的勧奨が再開となった子宮頸がん予防接種の接種費用助成、予診票印刷及び発送に係る費用を支出する。	健康推進課
4	3歳児健康診査従事者の人員増	11,507	1,013	3歳児健康診査の待ち時間の発生や医師の診察時間の長時間化を解消し、安全かつ確実な事業体制を確保するため、従事者を増員する。	健康推進課
5	ゆりかご等オンライン面接経費	157	157	これまで来所が難しく、面接に至らなかった妊婦とのオンライン面接を導入する。	長崎健康相談所
6	（仮称）としま子どもの権利擁護センターの設置	9,027	9,027	子どもの権利相談員を新たに配置し、電話、面接、メール及びアウトリーチ型の対面相談等で子ども等から相談を受ける。権利侵害が疑われる場合は、子どもの権利擁護委員と相談員が内容を調査し、必要に応じて是正措置を要請する。	子ども若者課
7	若者等がつくる若者の居場所応援事業【すずらんスマイルプロジェクト】	10,000	10,000	区内3か所に若者の居場所を確保する。相談、安心できる場所、飲食物の提供、占いセラピー効果のある事業等、委託事業者の特性を活かした様々な機能を持ち、若者の感性にあう居場所を提供する。	子ども若者課
8	若年女性つながりサポート事業【すずらんスマイルプロジェクト】	3,000	3,000	困難を抱える若年女性の相談時に生理の貧困への支援として、希望者に生理用品を配布する。困難や不安を抱えた若年女性を支援に繋げるための広報活動や、講演会、支援団体との意見交換会等を行う。	子ども若者課
9	高校生等医療費助成事業	1,191,647	114,247	子どもの医療費助成の対象を、「中学校3年生修了前まで」から「18歳に達する日以後の最初の3月31日まで」に拡大する。	子育て支援課
10	外国人住民居住・生活支援事業	1,302	1,302	豊島区を中心に産前産後の外国人住民への支援を行っているNPO法人への委託等により、訪問時の通訳支援や、外国人住民からの意見も踏まえた実用性の高い事業リーフレット等の多言語化を実施する。	子育て支援課 子ども家庭支援センター
11	発達相談支援事業の拡充	36,194	14,726	発達に係る相談の増加に対応するため、言語療法や作業療法の相談枠を拡充し、初回相談待機者解消や継続相談の待機期間を短縮する。	子ども家庭支援センター
12	ヤングケアラー支援コーディネーターの配置・研修実施	10,783	10,783	ヤングケアラーの研修を含む啓発活動に加え、本人とその家族、児童相談所・保健所・学校・警察などの関係機関との連絡及び調整を行い、連携体制を強化する。	子ども家庭支援センター

1 子どもと女性にやさしいまちづくり

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
13	支援対象児童等見守り強化事業	6,991	6,991	NPO法人が支援を必要とする子育て世帯の居宅を訪問し、生活状況の把握や食事の提供等を通じて子どもの安全確認と見守りを実施する。	子ども家庭支援センター
14	区立保育園歯科口腔保健充実事業	1,102	551	保育園における歯科口腔保健事業を、現状年1回の歯科検診から、2回実施とすることでさらに歯科口腔保健を充実する。	保育課
15	医療的ケア児受入体制強化事業	7,649	7,629	区立保育園における医療的ケア児の受入れに向け、施設の改修や物品・機器類の整備を行うとともに、職員の育成を進め、受入体制を強化する。	保育課
16	保育施設入所に関するDX推進事業	763	264	現在導入している手続きガイドのガイド内容を拡充し、さらに利便性を向上させる。	保育課
17	区立保育園安全対策事業	312,655	7,855	保育園の正門や園舎入口を電子錠化することで施設の安全対策を講じる。	保育課
18	マイほいくえん事業の拡大 (保育園における在宅子育て家庭支援の強化)	6,462	5,845	在宅子育て家庭への支援を強化するため、「マイほいくえん」事業を私立保育園、地域型保育事業に拡大するほか、地域型保育事業の空き定員を活用し一時預かり事業(余裕活用型)を実施する。	保育課 保育課(保育政策担当課長)
19	病児保育事業施設の新設	24,859	11,415	区内医療機関に病児・病後児保育室を新設する。	保育課(保育政策担当課長)
20	緊急1歳児受入事業	13,800	13,800	待機児童対策の一環として、4・5歳児室等の空きスペースを活用し、保育需要が高い1歳児を緊急的に受け入れ、保育を行う。	保育課(保育政策担当課長)
21	G I G Aスクール構想実現のための大型提示装置更新事業	9,409	9,299	平成26年度以前に購入した大型掲示装置更新について、買換え計画に沿って更新する。	庶務課
22	I C T環境整備事業 (GIGAスクール環境アカウント整備)	1,210	1,210	児童・生徒の欠席連絡、アンケート、保護者会、個人面談等のオンライン化に向け、大半の保護者アカウントのChromebookへのアクセスを遮断し、各保護者のスマートフォン等のみでアクセスする環境を構築する。	庶務課
23	Chromebook端末の整備事業	154,733	32,477	児童・生徒及び教員が使うタブレットPCの保守・運用に係る経費の他、児童・生徒及び教員(一時保護所の職員含む)の増加に伴う機器購入、その他機器の整備を行う。	庶務課
24	生理用品の学校への配布事業	754	754	区立小・中学校のトイレや保健室等に生理用品を配置し、困ったときに生理用品が使える体制を整え、安全・安心な学校生活に寄与する。	庶務課 学務課
25	SDGs達成の担い手育成事業	16,800	16,800	学校と地域などとの協働による取組を継続し、SDGs達成の担い手を育成する。また、昨年度に引き続きSDGsフェスティバルを開催し、SDGsの機運を醸成する。保育園・幼稚園・小学校の連携のもと、豊島区らしいSDGs×アトカルによる就学前教育・保育を実施・研究する。	庶務課(教育施策推進担当課長)

1 子どもと女性にやさしいまちづくり

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
26	インターナショナルセーフスクール推進事業	3,417	3,417	インターナショナルセーフスクール活動を通して、学校・児童・生徒・保護者・地域等が一体となって「安全・安心な学校づくり」を推進する。令和5年度は池袋本町小、仰高小が再認証取得に取り組む。	庶務課（教育施策推進担当課長）
27	学校・地域の連携推進事業	1,115	439	学校と保護者、地域等が協働で、子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校」の実現を目指し、新たに高南小学校と池袋中学校でコミュニティ・スクールを導入する。	庶務課（教育施策推進担当課長）
28	保幼小連携推進事業	329	329	保幼小連携の推進や豊島区における就学前教育・保育のあり方について学識経験者等を交えて検討する。	庶務課（教育施策推進担当課長）
29	学校給食への公費補助事業	44,272	22,136	給食食材の価格高騰が進む中、保護者負担を増やさず、給食の質や食育活動を維持するため、米の購入経費の助成額を週2回から4回分へ拡充する。	学務課
30	中学3年生に対する修学旅行費用補助	14,858	368	修学旅行費の保護者負担額増に伴い、中学3年生の就学援助者一人あたりの修学旅行費補助上限額を1,600円増額する。	学務課
31	通学路安全対策事業	89,043	17,741	通学路安全対策の強化・継続のため、学童安全通学指導員の増員、防犯カメラと文表示の更新を行う。	学務課
32	学校防犯カメラ設備の更新	4,616	1,738	西池袋中学校の防犯カメラ老朽化に伴い、本体の更新を行う。	学務課
33	子どもスキップ図書・遊具充実経費	10,119	5,807	子どもスキップでは、利用者が毎年300人ずつ増大していることから、消耗の激しい施設の図書・遊具を入替えるため、児童一人あたりの年間教材費を3,500円に増額し、保育環境を充実させる。	放課後対策課
34	冷水機設置事業	1,709	1,709	冷水機未整備の学校（西巣鴨中学校、池袋中学校、西池袋中学校）にボトル給水型の冷水機を整備する。	学校施設課
35	小・中学校教室への内線電話設置事業経費	25,356	25,356	教室等への内線電話機の整備を進め、児童・生徒の急病やアレルギー対応、不審者の侵入時などの緊急時連携体制を強化する。	学校施設課
36	小・中学校遊具等安全点検事業	3,047	3,047	小学校、中学校、幼稚園の遊具や防球ネットなどについて、専門家による安全点検を行う。	学校施設課
37	スクールソーシャルワーカー活用事業強化モデル～SV～	4,368	4,368	スクールソーシャルワーカーの専門性の向上及びチームアプローチの維持・向上を目的としてスーパーバイズ体制を強化する。	教育センター
	その他14事業	13,169,346	441,770		

高齢者にやさしいまちづくり	事業数	事業費	うち新拡分 事業費
	22事業	316,048	196,264

(単位：千円)

- * 各分類に重複して位置づけている事業があります。
- * 事業費には特定財源を含みます。

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
1	つながる ひろがる デジタルシニア育成事業 (地域区民ひろば課分)	51,730	51,730	区民ひろば5施設に「地域共生カフェ」を設置し、高齢者向けICT技術活用支援を行うことで区民ひろばをICTリテラシー向上の拠点とする。	地域区民ひろば課
2	成年後見制度利用促進事業	21,532	7,671	成年後見制度の利用を促進するため、(仮称)協議会や(仮称)候補者調整会議を開くとともに、チームによる支援を実施する。	福祉総務課(自立促進担当課長)
3	西巣鴨体育場跡地を活用した特別養護老人ホーム等の整備	1,518	1,518	西巣鴨体育場跡地を活用し、特別養護老人ホーム等を整備する事業者を公募・選定するための選定委員会を設置する。	福祉総務課
4	災害時要配慮者対策の推進	13,287	13,287	災害時の要配慮者対策推進のため、名簿システム改修、名簿作成、個別避難計画作成、専門機関による検討支援を行う。	福祉総務課
5	ウイズコロナにおける高齢者への呼びかけ事業	6,766	6,766	コロナ禍で社会参加の機会が減少し、高齢者が孤立することを防ぐため、日頃の困りごとや相談等を聞き取り、必要な支援等につなげる。	高齢者福祉課
6	精神疾患を持つ高齢者対応強化	2,811	1,100	精神疾患を持つ高齢者への対応力強化のため、精神科医、臨床心理士等の専門職による相談やアウトリーチ、職員研修を実施する。	高齢者福祉課
7	補聴器購入費助成の拡充	6,435	4,821	住民税本人非課税の高齢者を対象としている補聴器購入費の助成額を2万円から5万円に増額する。また、対象を拡充し、住民税本人課税の高齢者に対しても、新たに2万円を助成する。	高齢者福祉課
8	ヒアリングフレイル相談事業	1,557	850	適切な補聴器等利用のために、補聴器相談医や認定補聴器技能者の専門相談、補聴器に関する講演会を実施する。	高齢者福祉課
9	紙おむつ等助成金額の拡充	149,102	20,614	在宅高齢者を対象にした紙おむつ等の支給、及び入院中の高齢者を対象にしたおむつ購入費等の一部助成について、月6,000円の上限額を7,000円に引き上げる。	高齢者福祉課
10	生活支援コーディネーターによる高齢者のための地域活性化事業	41,440	15,889	生活支援コーディネーターを、8包括圏域のうち未配置の4圏域に配置し、高齢者を取り巻く介護予防や生活支援等の地域資源を充実させ地域の活性化を図る。	高齢者福祉課
11	短期集中通所型サービス(通所型サービスC)実施内容の拡充	11,808	2,055	要支援者等の自立した生活が継続できるよう短期集中通所型サービス(3か月で生活行為改善に効果的なプログラムを実施)の回数を拡充する。	高齢者福祉課
12	高齢者理美容費助成事業	6,429	4,239	要介護4以上の在宅高齢者に対して、理美容業者が自宅出張して散髪・洗髪の施術に使える理美容助成事業の対象者及び利用回数の拡充、助成単価の増を行う。	高齢者福祉課

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
13	入浴特化型デイサービスモデル事業	1,000	1,000	入浴施設が不足する2圏域において、入浴特化型短時間デイサービスのモデル事業を実施し、令和6年度の介護保険の新たなメニューの実現性を検証する。	高齢者福祉課
14	介護予防ニーズの把握と支援	633	589	80歳で介護保険認定を受けていない高齢者に対し、「基本チェックリスト」を郵送し、回答結果に基づきリスクに応じて情報や福祉サービスを提供する。	高齢者福祉課
15	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 (健康状態不明者の把握及び支援)	3,141	250	75歳以上で直近2年間に健診・医療・介護給付のデータがない後期高齢者に対し、基本チェックリストを郵送し、回答に基づきリスクに応じた医療・介護予防情報の提供及び福祉サービスへの連携を行う。	高齢者医療年金課 高齢者福祉課
16	つながる ひろがる デジタルシニア育成事業（高齢者福祉課分）	18,044	18,044	高齢者を対象に区民ひろばと連携してスマホ教室、デバイスの貸与、オンラインフレイル対策講座を実施する。高齢者がスマホ等で情報収集・発信ができることによるQOL向上を目指す。	高齢者福祉課
17	要介護認定調査事業経費の拡充	57,928	20,419	コロナ禍による介護保険認定調査の業務委託事業所減少とコロナ特例廃止に伴う調査件数急増に対応するため、調査を指定市町村事務受託法人に委託する。	介護保険課
18	高齢者訪問歯科健診事業	29,367	1,397	高齢者歯科健診対象者のうち、身体状況で歯科医療機関への来院が難しい方に対し、あぜりあ歯科診療所が訪問し、健診を実施する。	地域保健課
19	高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種に係る自己負担全額助成	28,180	19,061	接種にかかる自己負担額4,000円を無料化することで、接種者の負担を軽減するとともに、接種率の向上を図る。	健康推進課
	その他3事業	173,264	4,964		

健康施策の充実	事業数	事業費	うち新拡分 事業費
	19事業	1,403,864	709,809

(単位：千円)

- * 各分類に重複して位置づけている事業があります。
- * 事業費には特定財源を含みます。

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
1	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施（健康状態不明者の把握及び支援）	3,141	250	75歳以上で直近2年間に健診・医療・介護給付のデータがない後期高齢者に対し、基本チェックリストを郵送し、回答に基づきリスクに応じた医療・介護予防情報の提供及び福祉サービスへの連携を行う。	高齢者医療年金課 高齢者福祉課
2	在宅要介護者の受入体制整備事業（高齢者分）	1,736	1,736	家族がコロナに感染して在宅での生活が困難になった要介護高齢者に対し、必要な介護サービスが提供できる施設への入所が可能となるよう、受入体制を整備する。	高齢者福祉課
3	在宅要介護者の受入体制整備事業（障害者分）	1,222	1,222	家族がコロナに感染して自宅での生活が困難になった要介護障害者に対し、必要な障害福祉サービスが提供できる施設への入所が可能となるよう、受入体制を整備する。	障害福祉課
4	障害福祉サービス事業者等におけるPCR検査実施事業	11,720	11,720	新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、保健所等による行政検査や国・都補助の対象外となる施設職員や利用者に対するPCR検査のほか、感染拡大時における予防的なPCR検査を実施する。	障害福祉課
5	介護サービス事業者等におけるPCR検査実施事業	23,992	23,992	新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、保健所等による行政検査や国・都補助の対象外となる施設職員や利用者に対するPCR検査のほか、感染拡大時における予防的なPCR検査を実施する。	介護保険課
6	高齢者訪問歯科健診事業	29,367	1,397	高齢者歯科健診対象者のうち、身体状況で歯科医療機関への来院が難しい方に対し、あぜりあ歯科診療所が訪問し、健診を実施する。	地域保健課
7	がん検診追跡調査費用	401,326	601	胃がん検診（バリウム検査）、肺がん検診における追跡調査にかかる経費を支出する。	地域保健課
8	胃がん検診（内視鏡）抜去補填経費	210,207	50	受診者に帰すべき事由で検査中止となり、委託料が支払えない場合、内視鏡スコープ抜去に伴う洗浄消毒にかかる経費を支出する。	地域保健課
9	新型コロナウイルス感染症対策事業	177,629	177,629	新型コロナウイルス感染症対策として、①入院医療が必要な陽性患者移送費の公費負担 ②患者対応に係る人材派遣（保健師・事務職）の配置 ③訪問看護ステーションによる健康観察業務委託等を行う。	健康推進課
10	風しんの追加的対策延長に係る助成	16,409	16,409	風しん抗体検査費用、抗体価が低かった方への予防接種費用助成、クーポン券印刷及び発送に係る費用を支出する。	健康推進課
11	子宮頸がんワクチン接種対象者助成	96,086	95,381	令和4年度より積極的勧奨が再開となった子宮頸がん予防接種の接種費用助成、予診票印刷及び発送に係る費用を支出する。	健康推進課
12	3歳児健康診査従事者の人員増	11,507	1,013	3歳児健康診査の待ち時間の発生や医師の診療時間の長時間化を解消し、安全かつ確実な事業体制を確保するため、従事者を増員する。	健康推進課

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
13	高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種に係る自己負担全額助成	28,180	19,061	接種にかかる自己負担額4,000円を無料化することで、接種者の負担を軽減するとともに、接種率の向上を図る。	健康推進課
14	带状疱疹ワクチン費用助成	46,169	46,169	50歳以上の方を対象に带状疱疹ワクチン（生ワクチン1回または不活化ワクチン2回）の接種費用の一部を助成する。	健康推進課
15	ゆりかご等オンライン面接経費	157	157	これまで来所が難しく、面接に至らなかった妊婦とのオンライン面接を導入する。	長崎健康相談所
16	池袋保健所の本移転	20,000	20,000	令和7年度末に竣工予定の南池袋二丁目C地区の再開発ビルへの保健所本移転に向け、レイアウト等の検討を実施する。	地域保健課
	その他3事業	325,016	293,022		

【参考】

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
1	民間事業者等による公衆喫煙所設置等助成事業	14,400	14,400	民間事業者等が公衆喫煙所を設置する経費に加え、維持管理経費を助成する。また、設置基準を緩和し民間主導での公衆喫煙所の設置を推進する。	環境保全課
2	路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール事業	44,696	5,002	受動喫煙防止対策を強化するため、池袋駅周辺の路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールを週5日から年末年始を除き毎日実施に拡充する。	環境保全課

教育施策の充実	事業数	事業費	うち新拡分 事業費
	41事業	3,598,898	2,965,155

(単位：千円)

- * 各分類に重複して位置づけている事業があります。
- * 事業費には特定財源を含みます。

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
1	G I G A スクール構想実現のための大型提示装置更新事業	9,409	9,299	平成26年度以前に購入した大型掲示装置更新について、買換え計画に沿って更新する。	庶務課
2	I C T 環境整備事業（GIGAスクール環境アカウント整備）	1,210	1,210	児童・生徒の欠席連絡、アンケート、保護者会、個人面談等のオンライン化に向け、大半の保護者アカウントのChromebookへのアクセスを遮断し、各保護者のスマートフォン等のみでアクセスする環境を構築する。	庶務課
3	Chromebook端末の整備事業	154,733	32,477	児童・生徒及び教員が使うタブレットPCの保守・運用に係る経費の他、児童・生徒及び教員（一時保護所の職員含む）の増加に伴う機器購入、その他機器の整備を行う。	庶務課
4	I C T 環境整備事業（学習eポータル環境構築）	548	548	令和5年度より、文部科学省のC B T（M E X C B T）を活用した全国学力調査に向け、接続に必要な学習eポータルを構築する。	庶務課
5	生理用品の学校への配布事業	754	754	区立小・中学校のトイレや保健室等に生理用品を配置し、困ったときに生理用品が使える体制を整え、安全・安心な学校生活に寄与する。	庶務課 学務課
6	教員の働き方改革推進事業（校務支援員（小学校）の勤務日数増）	23,418	7,548	教員の学校徴収金等に関する事務負担を軽減し、区立小・中学校におけるより良い教育と教員の働き方改革を推進するため、小学校校務支援員の勤務日数を増加する。 （月8日⇒11日）	指導課 庶務課（教育施策推進担当課長）
7	学校防犯カメラ設備の更新	4,616	1,738	西池袋中学校の防犯カメラ老朽化に伴い、本体の更新を行う。	学務課
8	通学路安全対策事業	89,043	17,741	通学路安全対策の強化・継続のため、学童安全通学指導員の増員、防犯カメラと文表示の更新を行う。	学務課
9	連合作品展開催事業	3,443	2,120	日頃の教育活動の成果を発表し、学校教育への区民の理解を深めるため、東京芸術劇場ギャラリーにて小・中学校児童・生徒の作品展を開催する。	指導課
10	スクールソーシャルワーカー活用事業強化モデル～SV～	4,368	4,368	スクールソーシャルワーカーの専門性の向上及びチームアプローチの維持・向上を目的としてスーパーバイズ体制を強化する。	教育センター
11	高南小学校別棟整備事業	761,641	761,641	高南小学校の敷地内に別棟を建設する。高南保育園改築中の仮園舎として活用した後、学校および子どもスキップの諸室として活用する。（R5年度オープン予定）	学校施設課 放課後対策課

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
12	千川中学校複合施設の整備	339,021	339,021	「豊島区立小・中学校改築計画」及び「豊島区学校施設等長寿命化計画」に基づき、改築工事を行う。西部子ども家庭支援センターと教育センターの一部機能を複合化するとともに、郷土資料の展示機能の整備や学校図書館の地域開放なども検討する。令和5年度は、改築校舎の設計等を行う。	学校施設課
13	西部区民事務所等複合施設の整備	231,537	231,537	旧平和小学校跡地に西部区民事務所、西部高齢者総合相談センター、西部障害支援センター、小中学校仮校舎等の機能を複合化した施設を整備する。 (西部区民事務所、西部高齢者総合相談センター、西部障害支援センターは、令和5年10月に新施設に移転予定。)	学校施設課 西部区民事務所 高齢者福祉課 障害福祉課（障害福祉サービス担当課長）
14	南池袋小学校別棟整備事業	6,308	6,308	今後の児童数増へ対応するため、体育館棟を改築し、体育館、子どもスキップ、特別教室等を整備し、校舎内の教室を確保する。 (R7年度オープン予定)	学校施設課 放課後対策課
15	休日部活動の地域移行に向けた実証事業	1,593	1,593	令和5年度からの3年間で休日の部活動を地域移行する国の方針に基づき、休日の部活動について、学校が地域人材や民間企業と連携して部活動を運営する実証事業を導入する。(モデル校：運動部、文化部 各1校)	庶務課 指導課
16	SDGs達成の担い手育成事業	16,800	16,800	学校と地域などの協働による取組を継続し、SDGs達成の担い手を育成する。また、昨年度に引き続きSDGsフェスティバルを開催し、SDGsの機運を醸成する。保育園・幼稚園・小学校の連携のもと、豊島区らしいSDGs×アトカルによる就学前教育・保育を実施・研究する。	庶務課（教育施策推進担当課長）
17	インターナショナルセーフスクール推進事業	3,417	3,417	インターナショナルセーフスクール活動を通して、学校・児童・生徒・保護者・地域等が一体となって「安全・安心な学校づくり」を推進する。令和5年度は池袋本町小、仰高小が再認証取得に取り組む。	庶務課（教育施策推進担当課長）
18	学校・地域の連携推進事業	1,115	439	学校と保護者、地域等が協働で、子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校」の実現を目指し、新たに高南小学校と池袋中学校でコミュニティ・スクールを導入する。	庶務課（教育施策推進担当課長）
19	保幼小連携推進事業	329	329	保幼小連携の推進や豊島区における就学前教育・保育のあり方について学識経験者等を交えて検討する。	庶務課（教育施策推進担当課長）
20	分園型認定こども園整備事業Ⅱ池袋幼稚園・池袋第五保育園	80,138	80,138	令和7年度より池袋幼稚園と池袋第五保育園を統合し、分園による保育所型認定こども園を設置する。	庶務課（教育施策推進担当課長） 保育課
	その他21事業	1,865,457	1,446,129		

文化を基軸としたまちづくり	事業数	事業費	うち新拡分 事業費
	7事業	57,770	47,620

(単位：千円)

- * 各分類に重複して位置づけている事業があります。
- * 事業費には特定財源を含みます。

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
1	としま文化の日推進事業	10,000	10,000	条例で毎年11月1日を「としま文化の日」とし、次世代に文化を継承するため記念事業を実施する。	文化デザイン課
2	区民合唱再結成 ～生まれ！第九を歌おう!!合唱団～	2,500	2,500	コロナの影響で中止になった「第九を歌おう!!合唱団」について活動を再開し、演奏会を開催する。	文化デザイン課
3	音楽によるまちづくり推進事業	6,220	6,220	「音楽によるまちづくり」の実現に向け、「バスキング」などのストリートミュージックイベントを、企業との連携により開催する。	文化デザイン課
4	昭和歴史文化記念館展示事業	10,000	10,000	令和4年11月に味楽百貨店にオープンした「昭和歴史文化記念館」の多目的スペースにおいて、企画展を開催する。	文化デザイン課 文化観光課（マンガ・アニメ 活用担当課長）
5	東京フrafesta in池袋2023の拡充	14,150	4,000	コロナ禍により規模を縮小していた東京フrafesta開催場所を拡充する。	文化観光課
6	トキワ荘におけるマンガ文化の発信・交流スペース運営事業	3,500	3,500	トキワ荘通りにオープンするアンテナショップ機能を持つ民間施設の2階部分を、トキワ荘ゆかりのマンガ家に関するマンガ文化発信、地域・観光の交流・発信の場として整備する。	文化観光課（マンガ・アニメ 活用担当課長）
7	Hareza池袋での音楽によるアニメのまちづくり事業	11,400	11,400	Hareza池袋のにぎわい創出のため中池袋公園におけるアニソンバンドイベントを定期的で開催する。	文化観光課（マンガ・アニメ 活用担当課長）

6 都市再生～安全・安心なまちづくり～

都市再生～安全・安心なまちづくり～	事業数	事業費	うち新拡分事業費	(単位：千円)
	61事業	8,927,926	8,061,263	

* 各分類に重複して位置づけている事業があります。
* 事業費には特定財源を含みます。

【都市再生】

No.	事業名	事業費	うち新拡分事業費	事業概要	所管課
1	池袋駅東口街区再編まちづくり推進事業	7,000	7,000	建築物の老朽化が進む池袋駅東口エリアにおいて、街区再編や共同建替等を誘導し、駅至近の特性を活かした、防災性が高く、持続的な賑わいを生むまちづくりを推進する。	都市計画課（再開発担当課長）
2	池袋駅周辺都市再生推進事業	51,046	45,250	池袋駅周辺の将来像を検討するとともに、関係者間で検討の進捗を共有しながら、西口を含む池袋駅周辺の都市再生を推進する。	都市計画課(交通・基盤担当課長)
3	池袋地区ウォークアブルまちづくり推進事業	5,673	5,673	区が目指す「ウォークアブルまちづくり」の実現に向け、将来像を共有するとともに、公民連携によるウォークアブル施策を展開する。	都市計画課(交通・基盤担当課長)
4	東池袋駅周辺まちづくり推進事業	8,890	8,890	成長著しい東池袋駅周辺地域における、まちづくりについて、必要に応じて検証を進めるとともに将来像を共有しながら、まちづくりを推進する。	都市計画課(交通・基盤担当課長)
5	市街地再開発事業 (南池袋二丁目C地区)	2,496,510	2,496,510	南池袋二丁目C地区における、再開発組合施行による市街地再開発事業の実施について、事業費の一部を補助する。	都市計画課（再開発担当課長）
6	市街地再開発事業 (東池袋一丁目地区)	3,305,110	3,305,110	東池袋一丁目地区における、再開発組合施行による市街地再開発事業の実施について、事業費の一部を補助する。	都市計画課（再開発担当課長）
7	子育てファミリー世帯家賃助成事業	48,929	5,138	子育てファミリー世帯家賃助成制度の利用実績に伴い、助成金を増額する。	福祉総務課（自立促進担当課長）
	その他11事業	437,468	246,394		

6 都市再生～安全・安心なまちづくり～

【交通】

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
8	池袋副都心交通戦略[東口駅前再編]推進事業	10,000	10,000	「池袋副都心交通戦略2020最新版」に示す「人に優しい交通環境」の実現に向け、多くの関係者との協議の上、多様な交通施策を実現する。	都市計画課 (交通・基盤担当課長)
9	池袋地区駐車場整備計画の改定事業	4,514	4,514	「池袋地区駐車場整備計画」の改定に伴う調査・分析や関連委員会を開催する。	都市計画課 (交通・基盤担当課長)
10	補助176号線整備事業	133,029	133,029	既存道路部で無電柱化のための電線共同溝を設置する。補助第81号線への接続部である新設道路の整備検討を行う。	道路整備課
11	東通り整備事業	13,000	13,000	東通りの歩道空間の再整備に向け、測量及び設計を行う。	道路整備課
12	区道の整備事業（特定道路）	14,400	14,400	池袋駅周辺の区道（特定道路）である補助第171号線・第172号線において、バリアフリー化に向けた測量・設計を行う。	道路整備課
13	立教通り整備事業	402,332	402,332	立教通りの無電柱化工事及び歩道拡幅整備の設計を行う。	道路整備課
14	寺町沿道道路整備事業	78,000	78,000	寺町周辺の道路整備として、南池袋公園アプローチ区道のバリアフリー・景観整備を行う。	道路整備課
15	ハレザ池袋周辺道路整備事業経費	62,500	62,500	庁舎跡地周辺と新庁舎周辺の2つのにぎわい拠点を結ぶ南北軸を整備する。	道路整備課
その他12事業		1,281,613	1,073,825		

【安全・安心なまちづくり】

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
16	街頭防犯カメラの整備に対する補助事業	38,300	25,100	地域見守り活動を連携して行う地域団体を対象として、街頭防犯カメラの設置経費の補助を行う。	防災危機管理課（治安対策担当課長）
17	路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール事業	44,696	5,002	受動喫煙防止対策を強化するため、池袋駅周辺の路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールを週5日から年末年始を除き毎日実施に拡充する。	環境保全課
18	災害時要配慮者対策の推進	13,287	13,287	災害時の要配慮者対策推進のため、名簿システム改修、名簿作成、個別避難計画作成、専門機関による検討支援を行う。	福祉総務課
19	ウイロード自転車安全利用街頭指導の拡充	9,650	977	ウイロードにおいて、自転車利用者の交通ルール順守とマナー向上のため、警備服着用警備員による街頭指導を実施する。	土木管理課
20	公園内防犯カメラ管理システム事業	8,480	8,480	防犯カメラ（SDカード保存）からクラウド使用の統合ビデオ管理システムを導入した防犯カメラに移行。令和4年度新規設置分から、IoTカメラへ移行する。	公園緑地課
その他18事業		453,499	96,852		

6 都市再生～安全・安心なまちづくり～

【参考】

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
1	無電柱化整備事業（巣鴨地藏通り）	492,200	492,200	巣鴨地藏通りの無電柱化を行う。	道路整備課
2	特定整備路線沿道不燃化促進事業	67,200	67,200	東京都施行の特定整備路線の整備に併せて、沿道地域に都市防災不燃化促進事業を導入し、耐火建築物の建築や老朽建築物の除却助成を通じた不燃化を促進することで、市街地火災の延焼を防止するための延焼遮断帯を形成する。	地域まちづくり課(沿道まちづくり担当課長)
3	不燃化特区推進事業（東池袋四・五丁目地区）	200,175	200,175	東京都の「不燃化特区制度」を活用し、公園広場用地の取得等を行うことで、地域の防災性の向上し、住環境を改善する。	地域まちづくり課
4	不燃化特区推進事業（池袋本町・上池袋地区）	201,824	201,824	東京都の「不燃化特区制度」を活用し、公園広場用地の取得等を行うことで、地域の防災性の向上し、住環境を改善する。	地域まちづくり課
5	不燃化特区推進事業（補助26・172号線沿道長崎・南長崎・千早地区）	354,270	354,270	東京都の「不燃化特区制度」を活用し、公園広場用地の取得等を行うことで、地域の防災性の向上し、住環境を改善する。	地域まちづくり課
6	不燃化特区推進事業（補助81号線沿道巣鴨・駒込地区）	86,426	86,426	東京都の「不燃化特区制度」を活用し、公園広場用地の取得等を行うことで、地域の防災性の向上し、住環境を改善する。	地域まちづくり課
7	不燃化特区推進事業（雑司が谷・南池袋地区）	55,659	55,659	東京都の「不燃化特区制度」を活用し、公園広場用地の取得等を行うことで、地域の防災性の向上し、住環境を改善する。	地域まちづくり課

SDGs推進	事業数	事業費	うち新拡分 事業費
	8事業	471,159	454,948

(単位：千円)

- * 各分類に重複して位置づけている事業があります。
- * 事業費には特定財源を含みます。

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
1	SDGs未来都市推進事業	15,621	15,621	2030年のゴールに向け、区民、団体、企業、特に次世代を担う子どもたちを主役とした「オールとしま」でのSDGs推進を図り、豊島区の魅力を区内外へ発信することにより、「SDGs未来都市 としま」の実現を目指す。	SDGs未来都市推進課
2	中学生平和派遣事業	4,404	3,653	区内中学生を長崎に派遣し、平和祈念式典参加や被爆者の講義を通じて平和の尊さの理解を促進する。また、派遣報告書を取りまとめ、区内中学校を中心に配布し、意識を啓発する。	総務課
3	エコ住宅・事業者普及促進費用助成（蓄電システム）	16,460	1,000	蓄電池システムを導入する個人に対して、1 kwhあたり10,000円（上限50,000円）助成を行う。	環境政策課
4	クールスポット・給水スポット事業	774	774	区民ひろばを一時的に暑さから逃れ休憩できる場所として活用し、冷水の供給が可能なマイボトル用給水機を設置する。	環境政策課
5	環境基本計画改定基礎調査事業	4,653	4,653	令和6年度中に環境基本計画の見直しを予定しており、事前準備として区の現況調査等を実施する。	環境政策課
6	プラスチック資源回収事業	386,591	386,591	容器包装、製品プラスチックをリサイクルする。4月より一部地域でモデル事業を行い、10月より全域で本格実施する。	ごみ減量推進課
7	ひきこもり支援体制強化事業	25,856	25,856	加速する8050問題に対応していくため、ひきこもり相談窓口に生きづらさ支援員を引き続き配置するとともに、家族支援等の機能を強化する。	福祉総務課（自立促進担当課長）
8	SDGs達成の担い手育成事業	16,800	16,800	学校と地域などとの協働による取組を継続し、SDGs達成の担い手を育成する。また、昨年度に引き続きSDGsフェスティバルを開催し、SDGsの機運を醸成する。保育園・幼稚園・小学校の連携のもと、豊島区らしいSDGs×アトカルによる就学前教育・保育を実施・研究する。	庶務課（教育施策推進担当課長）

デジタル化推進	事業数	事業費	うち新拡分 事業費	(単位：千円)
	34事業	628,484	444,243	

* 各分類に重複して位置づけている事業があります。
* 事業費には特定財源を含みます。

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
1	区民意識調査へのWeb回答の導入	4,349	935	区民意識調査の回答率の向上と回答層の偏在改善を目的として、新たにWebでの回答を導入する。	企画課
2	豊島区史編さん事業	3,960	3,960	平成期以降の区史編さんを、ICTを活用して継続する。	広報課
3	施設予約システム オンライン決済・利用者ID対応事業	4,752	4,752	施設予約システムに、オンライン決済機能を追加するとともに、利用者IDを一本化する。また、インボイス制度に対応した領収書・請求書を発行できるように改修する。	情報管理課
4	パートナーシップ制度の充実	1,536	1,426	多様な性自認・性的指向の区民が、パートナーシップ制度をアウティングの懸念なく利用できるよう、オンライン届出・申請を導入する。また、制度創設5周年を記念して、講演会等を実施し、当事者支援の一環としてつながりの場をオンラインで提供する。	男女平等推進センター
5	町会活動のデジタル化促進事業	1,830	1,830	毎月対面で行っている区政連絡会のオンライン化を図る。令和5年度は中央地区、東部地区、西部地区全12地区のうち、新たに3地区で開始し、計6地区で実施する。	区民活動推進課
6	つながる ひろがる デジタルシニア育成事業 (地域区民ひろば課分)	51,730	51,730	区民ひろば5施設に「地域共生カフェ」を設置し、高齢者向けICT技術活用支援を行うことで区民ひろばをICTリテラシー向上の拠点とする。	地域区民ひろば課
7	マイナポイントを活用した消費活性化事業	30,000	30,000	マイナンバーカードでマイキーIDを取得し、キャッシュレス決済サービス、健康保険証、金融機関との紐づけをした際に付与されるマイナポイント事業について予約・申込支援を行う。	総合窓口課
8	つながる ひろがる デジタルシニア育成事業 (学習・スポーツ課分)	3,223	3,223	地域文化創造館にFreeWi-Fi環境を整備し、高齢者のデジタルデバイドの解消およびQOLの向上を目指す。地域活動拠点の機能強化により、地域コミュニティの活性化につなげる。	学習・スポーツ課
9	つながる ひろがる デジタルシニア育成事業 (高齢者福祉課分)	18,044	18,044	高齢者を対象に区民ひろばと連携してスマホ教室、デバイスの貸与、オンラインフレイル対策講座を実施する。高齢者がスマホ等で情報収集・発信ができることによるQOL向上を目指す。	高齢者福祉課
10	ゆりかご等オンライン面接経費	157	157	これまで来所が難しく、面接に至らなかった妊婦とのオンライン面接を導入する。	長崎健康相談所
11	SNS相談受付事業	1,331	1,331	児童虐待の防止や早期発見の観点から、SNSを活用した相談しやすい環境の整備を行う。国が構築するシステムで、相談を一元的に受け付け、各自治体において子ども家庭とSNS上で相談できるようにする。	子育て支援課（児童相談所設置準備担当課長）
12	ICT活用による相談援助業務支援事業	3,388	3,388	ICT技術を活用し、児童福祉司・児童心理司の電話対応記録作成等の負担を軽減する。また、当該記録を利用し、相談・通告内容の誤認防止等、適切な相談援助業務の推進及び支援を行う。	子育て支援課（児童相談所設置準備担当課長）

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	事業概要	所管課
13	一時保育事業におけるW E B 予約システムの導入	1,636	1,331	東西子ども家庭支援センターの一時保育事業において、W E B 予約システムを導入する。健康推進課で運用している「母子モ」の「地域の子育て情報」に申込みボタンを設置し、運用する。	子ども家庭支援センター
14	保育施設入所に関するDX推進事業	763	264	現在導入している手続きガイドのガイド内容を拡充し、さらに利便性を向上させる。	保育課
15	私立保育所ICTシステム導入補助事業	3,000	3,000	区が契約している一斉配信メールシステムが廃止になるため、代替となるシステムを保育園が導入するための経費を補助する。	保育課（保育政策担当課長）
16	G I G A スクール構想実現のための大型提示装置更新事業	9,409	9,299	平成26年度以前に購入した大型掲示装置更新について、買換え計画に沿って更新する。	庶務課
17	I C T 環境整備事業（GIGAスクール環境アカウント整備）	1,210	1,210	児童・生徒の欠席連絡、アンケート、保護者会、個人面談等のオンライン化に向け、大半の保護者アカウントのChromebookへのアクセスを遮断し、各保護者のスマートフォン等のみでアクセスする環境を構築する。	庶務課
18	Chromebook端末の整備事業	154,733	32,477	児童・生徒及び教員が使うタブレットPCの保守・運用に係る経費の他、児童・生徒及び教員（一時保護所の職員含む）の増加に伴う機器購入、その他機器の整備を行う。	庶務課
	その他16事業	333,433	275,886		

誰一人取り残さない 持続可能な国際文化都市へ



令和5年1月／豊島区政策経営部広報課
〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
TEL (03) 3981-1111 (代表)